

2012年度第3四半期
決算説明資料

2013年2月5日

旭化成株式会社

1. 2012年度第3四半期実績

主要決算数値 P4

連結損益計算書 P5

特別損益 P6

連結貸借対照表 P7

連結キャッシュ・フロー計算書 P8

セグメント別売上高・営業利益 P9～14

2. 2012年度通期予想

当期業績予想 P16

セグメント別売上高 P17

セグメント別営業利益 P18

3. 参考資料

連結包括利益計算書 P20

セグメント別業績推移 P21～22

セグメント別海外売上高 P23

セグメント別概況 P24～33

1. 2012年度第3四半期実績

主要決算数値

(億円)

	11年度		12年度	
	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月
				a
売上高*2	3,853	11,698	4,151	12,026
営業利益	233	871	242	625
経常利益	259	880	269	627
四半期純利益	98	481	150	356

10-12月比較 対前年同期		4-12月比較 対前年同期	
増減額	増減率	増減額	増減率
298	7.7%	328	2.8%
9	3.8%	-246	-28.2%
10	3.8%	-253	-28.7%
52	52.3%	-124	-25.9%

12年度 前回予想*1	進捗率
b	(a/b)
16,850	71.4%
960	65.1%
930	67.4%
505	70.5%

*1 2012年11月1日発表の業績予想

*2 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡って売上高から同取引相当額を控除している。

(ナフサ転売の取引額: 2011年度10-12月 164億円、2011年度4-12月 341億円)

<前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ: ¥/kl)	51,700	55,200	55,800	55,400
為替レート (相場平均: ¥/US\$)	77	79	81	80

	12/3月末	12/12月末
総資産	14,106	17,379
自己資本	7,068	7,506
有利子負債残高	1,841	4,199
D/Eレシオ	0.26	0.56

増減
3,273
437
2,358
0.30

連結損益計算書

(上段: 百分比、% 下段: 金額、億円)

	11年度		12年度		10-12月比較		4-12月比較	
	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高*1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	298	7.7%	328	2.8%
売上原価*1	75.1%	74.2%	74.2%	74.3%	184	6.4%	255	2.9%
売上総利益	24.9%	25.8%	25.8%	25.7%	113	11.8%	74	2.4%
販管費	18.8%	18.4%	20.0%	20.5%	105	14.4%	319	14.9%
営業利益	6.1%	7.4%	5.8%	5.2%	9	3.8%	-246	-28.2%
営業外損益	25	9	26	2	1		-7	
(内、金融収支)	(4)	(11)	(2)	(9)	(-3)		(-2)	
(内、持分法投資損益)	(0)	(10)	(-10)	(-10)	(-11)		(-20)	
(内、為替差損益)	(7)	(-18)	(33)	(16)	(25)		(33)	
経常利益	6.7%	7.5%	6.5%	5.2%	10	3.8%	-253	-28.7%
特別損益	-18	-49	-45	-76	-27		-27	
税前利益	6.2%	7.1%	5.4%	4.6%	-17	-7.2%	-280	-33.7%
法人税等	-138	-338	-71	-189	66		149	
少数株主損益	-4	-13	-2	-6	2		7	
四半期純利益	2.6%	4.1%	3.6%	3.0%	52	52.3%	-124	-25.9%

*1 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡って売上高及び売上原価から同取引相当額を控除している。(ナフサ転売の取引額: 2011年度10-12月 164億円、2011年度4-12月 341億円)

特別損益

(億円)

	11年度		12年度		増減	
	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月
投資有価証券売却益	0	1	1	1	1	-0
固定資産売却益	1	4	1	2	0	-3
段階取得に係る差益	23	23	-	-	-23	-23
特別利益	24	28	2	2	-22	-26
投資有価証券評価損	31	36	-0	0	-31	-36
固定資産処分損	9	22	10	26	1	3
減損損失	0	2	6	11	6	9
災害による損失	1	10	-	-	-1	-10
事業構造改善費用	0	6	32	41	32	35
特別損失	42	77	47	78	5	2
特別損益	-18	-49	-45	-76	-27	-27

連結貸借対照表*1

AsahiKASEI

(億円)

	12/3月末	12/12月末	増減		12/3月末	12/12月末	増減
流動資産	7,218	8,138	920	負債	6,913	9,750	2,837
現金及び預金	1,029	1,011	-17	流動負債	4,496	6,316	1,820
受取手形及び売掛金	2,661	2,924	264	固定負債	2,417	3,435	1,018
棚卸資産	2,792	3,195	403	純資産	7,193	7,629	436
その他	736	1,007	270	株主資本	6,968	7,158	190
固定資産	6,888	9,241	2,353	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,161	4,533	372	資本剰余金	794	794	-0
無形固定資産	452	2,341	1,889	利益剰余金	5,164	5,355	191
投資その他の資産	2,275	2,367	92	自己株式	-24	-24	-0
				その他の包括利益累計額	100	347	247
				少数株主持分	124	123	-1
資産合計	14,106	17,379	3,273	負債純資産合計	14,106	17,379	3,273

*1 2012年12月末時点のZOLL Medical社等の新規連結及び買収に係る所要資金調達に伴う連結貸借対照表への影響額: 総資産 2,223億円
 主な内訳: 無形固定資産 1,835億円(内、のれん 1,166億円)、負債(有利子負債) 1,813億円 他

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	11年度		12年度	
	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月
営業活動によるキャッシュ・フロー①	225	856	184	483
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-235	-621	-257	-2,543
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	-10	235	-73	-2,060
財務活動によるキャッシュ・フロー④	203	-497	-120	2,095
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	-24	-21	38	-18
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	169	-282	-154	17

現金及び現金同等物の期首残高⑦	913	1,344	1,082	964
連結の範囲の変更に伴う増加額⑧	-	15	-	1
関係会社の報告期間変更に伴う増減額⑨	-	5	-	-53
現金及び現金同等物の四半期末残高(⑥+⑦+⑧+⑨)	1,082	1,082	928	928

セグメント別売上高・営業利益(1)

(第3四半期・10-12月比較)

(億円)

	売上高*1			営業利益		
	11年度 10-12月	12年度 10-12月	増減	11年度 10-12月	12年度 10-12月	増減
ケミカル	1,656	1,690	35	92	29	-63
住宅	1,090	1,174	83	109	130	21
医薬・医療	307	361	54	37	70	32
繊維	272	275	3	5	13	7
エレクトロニクス	356	332	-24	-5	14	19
建材	128	144	16	9	17	7
クリティカルケア*2	-	133	133	-	-12	-12
その他	44	42	-2	9	5	-4
消去又は全社	-	-	-	-25	-22	2
合計	3,853	4,151	298	233	242	9
海外売上高	991	1,165	174			
(比率)	25.7%	28.1%	2.4%			

*1 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡ってケミカルの売上高から同取引相当額を控除している。
(ナフサ転売の取引額:2011年度10-12月 164億円)

*2 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

セグメント別売上高・営業利益(2)

(9ヶ月累計・4-12月比較)

(億円)

	売上高*1			営業利益		
	11年度 4-12月	12年度 4-12月	増減	11年度 4-12月	12年度 4-12月	増減
ケミカル	5,257	5,014	-243	433	174	-259
住宅	3,090	3,304	214	288	318	30
医薬・医療	907	1,009	102	94	145	51
繊維	834	814	-20	27	30	3
エレクトロニクス	1,132	1,002	-130	66	14	-52
建材	350	392	42	17	33	16
クリティカルケア*2	-	362	362	-	-23	-23
その他	129	131	2	21	16	-5
消去又は全社	-	-	-	-74	-82	-8
合 計	11,698	12,026	328	871	625	-246
海外売上高	3,269	3,469	200			
(比率)	27.9%	28.8%	0.9%			

*1 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡ってケミカルの売上高から同取引相当額を控除している。
(ナフサ転売の取引額:2011年度4-12月 341億円)

*2 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

セグメント別売上高・営業利益増減要因 (第3四半期・10-12月比較) (1)

AsahiKASEI

(億円)

		11年度 10-12月	12年度 10-12月	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
ケミカル	売上高*1	1,656	1,690	35	66	-18	12	-14	-
	営業利益	92	29	-63	1			-	-47
住宅	売上高	1,090	1,174	83	37	-19	-	65	-
	営業利益	109	130	21	7			-	32
医薬・医療	売上高	307	361	54	64	-10	1	-	-
	営業利益	37	70	32	59			-	-16
繊維	売上高	272	275	3	3	-0	2	-	-
	営業利益	5	13	7	1			-	7
エレクトロニクス	売上高	356	332	-24	-20	-4	4	-	-
	営業利益	-5	14	19	-13			-	36

*1 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡って売上高から同取引相当額を控除している。
(ナフサ転売の取引額:2011年度10-12月 164億円)

セグメント別売上高・営業利益増減要因 (第3四半期・10-12月比較) (2)

AsahiKASEI

(億円)

		11年度 10-12月	12年度 10-12月	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
建材	売上高	128	144	16	16	0	-	-	-
	営業利益	9	17	7	2			-	-
クリティカルケア*1	売上高	-	133	133	-	-	-	133	-
	営業損失	-	-12	-12	-			-	-
その他	売上高	44	42	-2	-2	-	-	0	-
	営業利益	9	5	-4	-4			-	-
消去又は全社	営業損失	-25	-22	2	-	-	-	-	2
合計	売上高*2	3,853	4,151	298	165	-52	19	184	-
	営業利益	233	242	9	53			-	-

*1 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

*2 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡ってケミカルの売上高から同取引相当額を控除している。
(ナフサ転売の取引額: 2011年度10-12月 164億円)

セグメント別売上高・営業利益増減要因 (9ヶ月累計・4-12月比較)(1)

(億円)

		11年度 4-12月	12年度 4-12月	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
ケミカル	売上高*1	5,257	5,014	-243	-89	-140	8	-14	-
	営業利益	433	174	-259	-40			-	-79
住宅	売上高	3,090	3,304	214	210	1	-	4	-
	営業利益	288	318	30	55			-	-26
医薬・医療	売上高	907	1,009	102	136	-34	-6	-	-
	営業利益	94	145	51	126			-	-41
繊維	売上高	834	814	-20	-12	-8	-5	-	-
	営業利益	27	30	3	-3			-	15
エレクトロニクス	売上高	1,132	1,002	-130	-73	-57	2	-	-
	営業利益	66	14	-52	-26			-	31

*1 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡って売上高から同取引相当額を控除している。
(ナフサ転売の取引額: 2011年度4-12月 341億円)

セグメント別売上高・営業利益増減要因 (9ヶ月累計・4-12月比較)(2)

(億円)

		11年度 4-12月	12年度 4-12月	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
建材	売上高	350	392	42	39	3	-	-	-
	営業利益	17	33	16	5			-	-
クリティカルケア*1	売上高	-	362	362	-	-	-	362	-
	営業損失	-	-23	-23	-			-	-
その他	売上高	129	131	2	1	-	-	1	-
	営業利益	21	16	-5	-3			-	-
消去又は全社	営業損失	-74	-82	-8	-	-	-	-	-8
合計	売上高*2	11,698	12,026	328	211	-234	-0	352	-
	営業利益	871	625	-246	114			-	-

*1 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

*2 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡ってケミカルの売上高から同取引相当額を控除している。

(ナフサ転売の取引額: 2011年度4-12月 341億円)

2. 2012年度通期予想

当期業績予想

(億円)

	11年度			12年度今回予想					12年度 前回予想*1
	上期	下期	計	上実績	下予想		計		
					10-12月	1-3月			
売上高*2	7,844	7,888	15,732	7,875	4,151	4,664	8,815	16,690	16,850
営業利益	638	405	1,043	383	242	275	517	900	960
経常利益	621	454	1,076	359	269	253	521	880	930
当期純利益	382	176	558	206	150	144	294	500	505

*1 2012年11月1日発表の業績予想

*2 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡って売上高から同取引相当額を控除している。
(ナフサ転売の取引額: 2011年度上期 177億円、2011年度下期 220億円)

<前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ: ¥/kl)	56,950	52,900	54,925	55,200	55,800	61,200	58,500	56,850	55,100
為替レート (相場平均: ¥/US\$)	80	78	79	79	81	89	85	82	79

	11年度	12年度
一株当たり年間配当金	14円	14円 (予定)
配当性向	35.1%	39.1%

セグメント別売上高*1

AsahiKASEI

(億円)

	11年度			12年度今回予想					12年度 前回予想*2 b	増減 a-b
	上期	下期	計	上実績	下予想			計 a		
					10-12月	1-3月				
ケミカル	3,601	3,200	6,801	3,323	1,690	1,876	3,567	6,890	7,000	-110
住宅	2,000	2,520	4,520	2,130	1,174	1,556	2,730	4,860	4,860	-
医療・医薬	600	595	1,195	648	361	321	682	1,330	1,330	-
繊維	561	547	1,108	539	275	276	551	1,090	1,100	-10
エレクトロニクス	775	686	1,461	669	332	308	641	1,310	1,360	-50
建材	222	239	461	248	144	128	272	520	530	-10
クリティカルケア*3	-	-	-	229	133	148	281	510	490	20
その他	85	101	186	89	42	49	91	180	180	-
合 計	7,844	7,888	15,732	7,875	4,151	4,664	8,815	16,690	16,850	-160

*1 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡ってケミカルの売上高から同取引相当額を控除している。
(ナフサ転売の取引額: 2011年度上期 177億円、2011年度下期 220億円)

*2 2012年11月1日発表の業績予想

*3 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

セグメント別営業利益

(億円)

	11年度			12年度今回予想					12年度 前回予想*1 b	増減 a-b
	上期	下期	計	上実績	下予想		計 a			
					10-12月	1-3月				
ケミカル	341	104	445	146	29	51	79	225	310	-85
住宅	179	284	463	188	130	222	352	540	520	20
医薬・医療	56	32	88	75	70	15	85	160	160	-
繊維	21	10	31	17	13	10	23	40	40	-
エレクトロニクス	70	-6	64	0	14	1	15	15	25	-10
建材	8	11	18	16	17	7	24	40	35	5
クリティカルケア*2	-	-	-	-11	-12	-12	-24	-35	-40	5
その他	12	18	30	12	5	4	8	20	20	-
消去又は全社	-50	-48	-97	-60	-22	-23	-45	-105	-110	5
合計	638	405	1,043	383	242	275	517	900	960	-60

*1 2012年11月1日発表の業績予想

*2 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

3. 参考資料

連結包括利益計算書

(億円)

	11年度 4-12月	12年度 4-12月	増減
少数株主損益調整前四半期純利益①	493	362	-131
その他有価証券評価差額金	48	22	-26
繰延ヘッジ損益	1	10	9
為替換算調整勘定	-59	144	204
持分法適用会社に対する持分相当額	-27	21	48
その他の包括利益合計②	-38	197	235
四半期包括利益(①+②)	456	560	104

(内訳)

親会社株主に係る四半期包括利益	447	550	103
少数株主に係る四半期包括利益	9	10	1

セグメント別売上高*1推移

(億円)

	11年度				12年度			12年度 4Q 予想
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
ケミカル	1,779	1,822	1,656	1,545	1,611	1,713	1,690	1,876
住宅	792	1,208	1,090	1,430	863	1,267	1,174	1,556
医療・医薬	294	306	307	288	324	324	361	321
繊維	277	284	272	275	263	276	275	276
エレクトロニクス	398	378	356	329	340	330	332	308
建材	101	122	128	111	115	132	144	128
クリティカルケア*2	-	-	-	-	91	138	133	148
その他	40	45	44	57	44	45	42	49
合計	3,680	4,165	3,853	4,035	3,650	4,225	4,151	4,664

控除したナフサ転売取引額

82	96	164	56
----	----	-----	----

*1 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡ってケミカルの売上高から同取引相当額を控除している。

*2 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

セグメント別営業損益推移

(億円)

	11年度				12年度			12年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q 予想
ケミカル	194	147	92	12	43	102	29	51
住宅	36	142	109	175	36	152	130	222
医薬・医療	26	30	37	-6	47	28	70	15
繊維	14	7	5	5	6	11	13	10
エレクトロニクス	48	22	-5	-2	-4	4	14	1
建材	2	5	9	1	5	11	17	7
クリティカルケア ^{*1}	-	-	-	-	-5	-6	-12	-12
その他	4	8	9	9	8	3	5	4
消去又は全社	-22	-27	-25	-23	-29	-30	-22	-23
合計	302	335	233	172	108	275	242	275

*1 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

セグメント別海外売上高 (9ヶ月累計・4－12月比較)

AsahiKASEI

(億円)

	11年度4-12月			12年度4-12月			増減	
	売上高*1	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率		金額	比率	金額	伸び率
ケミカル	5,257	2,203	41.9%	5,014	2,053	41.0%	-150	-6.8%
住宅	3,090	-	-	3,304	-	-	-	-
医療・医薬	907	218	24.1%	1,009	207	20.5%	-12	-5.5%
繊維	834	269	32.3%	814	283	34.7%	13	4.9%
エレクトロニクス	1,132	563	49.7%	1,002	559	55.8%	-4	-0.7%
建材	350	-	-	392	-	-	-	-
クリティカルケア*2	-	-	-	362	360	99.7%	360	-
その他	129	16	12.3%	131	8	5.8%	-8	-52.4%
合計	11,698	3,269	27.9%	12,026	3,469	28.8%	200	6.1%
東アジア地域*3への売上高		2,091	17.9%		2,056	17.1%	-35	-1.7%
(内、中国への売上高)		1,171	10.0%		1,130	9.4%	-42	-3.6%

<参考>

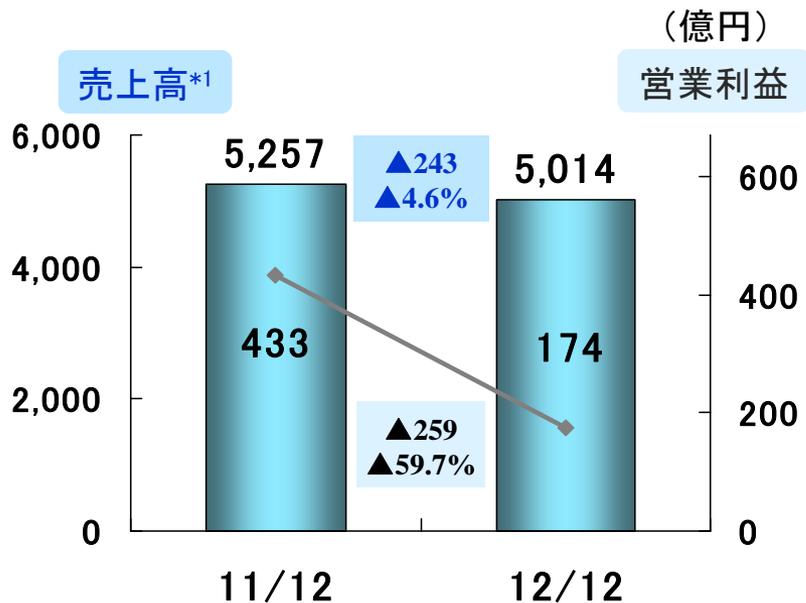
住宅・建材を除いた売上高 8,258 3,269 39.6% 8,330 3,469 41.6%

*1 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡ってケミカルの売上高から同取引相当額を控除している。
(ナフサ転売の取引額: 2011年4-12月 341億円)

*2 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

*3 中国、韓国、台湾

ケミカル概況(4-12月累計)



*1 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡って売上高から同取引相当額を控除している。(ナフサ転売の取引額: 2011年度4-12月 341億円)

売上高増減分析



営業利益増減分析



<概況>

・汎用系事業

<モノマー系事業>

景気減速の影響により中国などを中心に需要が低迷し、アクリロニトリルなどモノマー系製品の市況が低水準で推移し、交易条件が大幅に悪化したことなどから、前年同期比減収、減益となった。

<ポリマー系事業>

省燃費タイヤ向け合成ゴムの販売が堅調に推移したものの、ポリエチレンが輸入品の影響を受けたことなどから、前年同期比減収、減益となった。

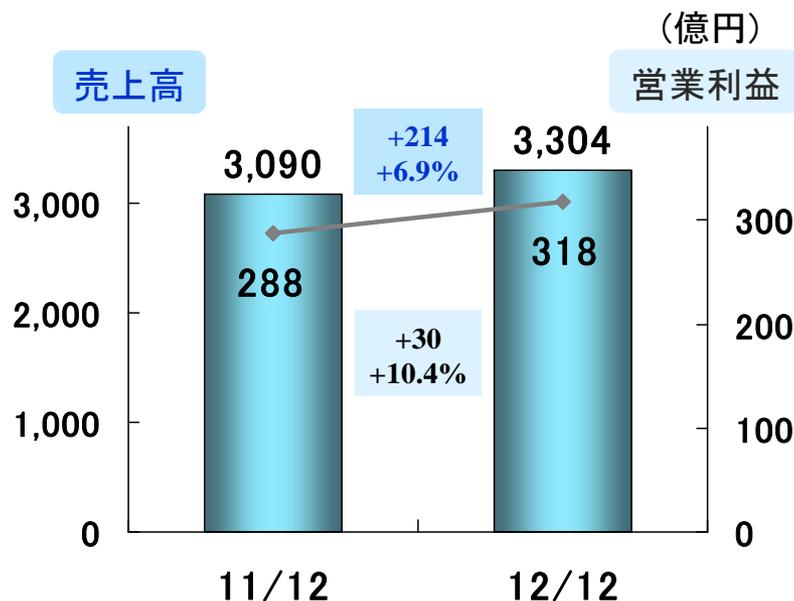
・高付加価値系事業

イオン交換膜が中国の新規プロジェクトのスタート遅れの影響などを受けたものの、コーティング事業や添加剤事業などが好調に推移したことから、前年同期比減収、増益となった。

<トピックス>

- ・「サランラップTM」新工場が竣工。(5月)
- ・韓国京畿道坡州(パジュ)市における大型下水MBR処理施設に水処理用中空糸ろ過膜「マイクロザTM」が採用、本格運転を開始。(6月)
- ・研究開発棟「川崎イノベーションセンター」が竣工。(12月)

住宅概況(4-12月累計)(1)



事業別増減分析

	11/12		12/12		
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
建築請負	2,287	/	建築請負部門 (旭化成ホームズ)	2,449	238
分譲	151		不動産部門 (旭化成不動産レジデンス)	500	30
住宅周辺等	653		リフォーム部門 (旭化成リフォーム)	339	43
合計	3,090		288	その他住宅周辺事業等	16
			合計	3,304	318

※ 2012年度より「建築請負部門」、「不動産部門」、「リフォーム部門」の区分にて表示。
従来の分譲事業売上高は、建築請負部門と不動産部門に分けて算入。

<概況>

- ・建築請負事業において、好調な受注実績を背景に、戸建住宅「ヘーベルハウス™」や集合住宅「ヘーベルメゾン™」の引渡戸数が増加した。また、不動産事業において分譲マンションの引渡戸数が増加し、賃貸管理事業も堅調だったことに加え、太陽光発電システムの設置などのリフォーム事業も好調に推移したことなどから、前年同期比増収、増益となった。
- ・建築請負事業の受注高は、都市部のニーズを捉えた商品展開などにより、順調に受注戸数を伸ばし、10-12月で前年同期比10.0%、4-12月累計で前年同期比9.7%の増となった。

<トピックス>

- ・エネルギーを世帯間でシェアする二世帯住宅「ヘーベルハウス™ & NiCO(アンド ニコ)」を発売。(4月)
- ・災害発生後の火災への備えを強化し、エネルギー自立供給を可能とする新たな設備を装備した「ヘーベルハウス™ そなえのいえ」を発売。(4月)
- ・V2H(ビークルトゥホーム)システム*1とHEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)機器*2を戸建住宅「ヘーベルハウス™」に導入。(7月)
- ・親世帯と子世帯と単身の兄弟姉妹も共に暮らす、「ヘーベルハウス™ 2.5世帯住宅」を発売。(8月)
- ・黒色の吹付を採用した、重量鉄骨システムラーメン構造の3階建て「ヘーベルハウス™ フレックスGENB(げんぶ)」を発売。(11月)

*1 電気自動車(EV)に搭載される大容量蓄電池に貯めた電力を住まいの系統電力に戻して使用できるシステム。

*2 家庭内のエネルギー消費状態を画面で確認できる機器。

住宅(2)

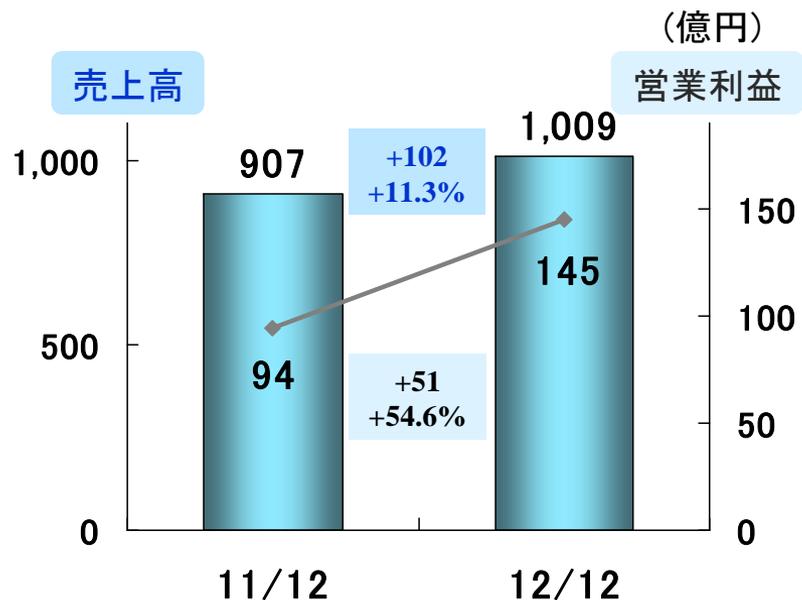
売上高*1、受注高の状況

(単位:億円、()内は対前年同期比)

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高		他	関係会社等	連結計	受注残
08	上期	1,571 (2.3%)	1,294 (▲1.4%)	60 (19.7%)	7	343 (13.2%)	1,703 (2.0%)	3,266	
	下期	1,339 (▲12.1%)	1,779 (7.2%)	240 (22.8%)	9	369 (10.8%)	2,396 (9.3%)	2,826	
	通期	2,911 (▲4.9%)	3,073 (3.4%)	299 (22.2%)	15	712 (11.8%)	4,099 (6.1%)		
09	上期	1,546 (▲1.6%)	1,158 (▲10.5%)	52 (▲12.6%)	8	358 (4.4%)	1,577 (▲7.4%)	3,213	
	下期	1,523 (13.7%)	1,665 (▲6.4%)	269 (12.4%)	11	375 (1.7%)	2,320 (▲3.2%)	3,071	
	通期	3,069 (5.4%)	2,823 (▲8.1%)	321 (7.4%)	19	734 (3.0%)	3,897 (▲4.9%)		
10	上期	1,817 (17.6%)	1,255 (8.3%)	94 (79.8%)	11	375 (4.8%)	1,735 (10.0%)	3,634	
	下期	1,728 (13.4%)	1,766 (6.1%)	184 (▲31.7%)	15	392 (4.5%)	2,357 (1.6%)	3,595	
	通期	3,545 (15.5%)	3,021 (7.0%)	278 (▲13.6%)	25	768 (4.6%)	4,092 (5.0%)		
11	上期	1,894 (4.2%)	1,459 (16.3%)	119 (26.5%)	15	406 (8.3%)	2,000 (15.2%)	4,030	
	3Q	800 (2.3%)	827 (23.2%)	32 (20.0%)		231 (11.6%)	1,090 (20.5%)	4,003	
	下期	1,825 (5.6%)	1,937 (9.7%)	118 (▲35.7%)		465 (14.2%)	2,520 (6.9%)	3,918	
	通期	3,719 (4.9%)	3,396 (12.4%)	237 (▲14.7%)		887 (11.8%)	4,520 (10.4%)		

		請負受注高	建築請負 部門売上高	不動産 部門売上高				リフォーム 部門売上高	他	連結計	受注残
				分譲	賃貸	他	合計				
12	上期	2,075 (9.5%)	1,614	44	233	11	288	216	12	2,130 (6.5%)	4,415
	3Q	880 (10.0%)	835	88	119	5	213	123	4	1,174 (7.7%)	4,476
	下予	1,956 (7.2%)	2,045	176	248	14	437	234	13	2,730 (8.3%)	4,378
通期予想		4,031 (8.4%)	3,660	220	480	25	725	450	25	4,860 (7.5%)	

*1 2012年度より「建築請負部門」、「不動産部門」、「リフォーム部門」の区分にて表示。従来の分譲事業売上高は、建築請負部門と不動産部門に分けて算入。



<概況>

・医薬事業

研究開発費が増加し、薬価改定の影響を受けたものの、骨粗鬆症治療剤「テリボン™」や血液凝固阻止剤「リコモジュリン™」を中心に販売が順調に拡大したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

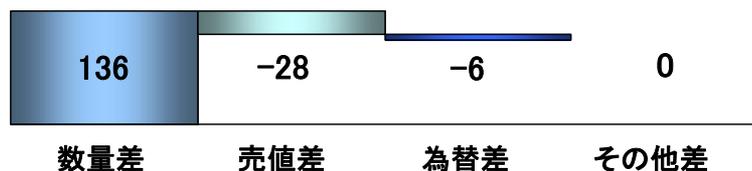
・医療事業

ポリスルホン膜人工腎臓など血液浄化事業で販売が堅調に推移したが、各製品が円高の影響を受けたことなどから、前年同期比減収、減益となった。

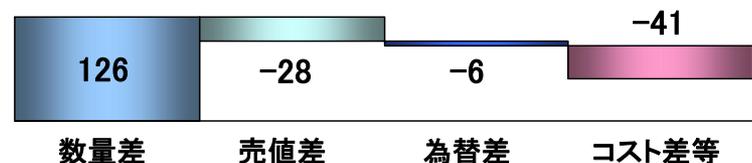
<トピックス>

- ・透析事業における戦略的提携関係を一層強化するため、ネクステージメディカル社に出資。(同社への長期貸付金元利金額を同社株式に転換し取得)(5月)
- ・血液凝固阻止剤ART-123(日本での販売名:「リコモジュリン™」)について、「凝固異常を伴う重症敗血症」を対象とする海外での第3相臨床試験を開始。(10月)
- ・久光製薬(株)が過活動膀胱治療薬として開発中のHOB-294(オキシブチニン塩酸塩 経皮吸収型製剤)について、日本国内における共同販売契約を締結。(12月)

売上高増減分析



営業利益増減分析



1. 売上高内訳

(億円)

		11年度			12年度	
		10-12月	4-12月	年間	12年度	
					10-12月	4-12月
医薬事業	国内医薬	154	431	571	199	541
	その他	10	42	52	13	36
	計	164	473	623	211	577
医療事業		143	434	572	150	432
医薬・医療 計		307	907	1,195	361	1,009

<主要医薬品の国内売上高>

(億円)

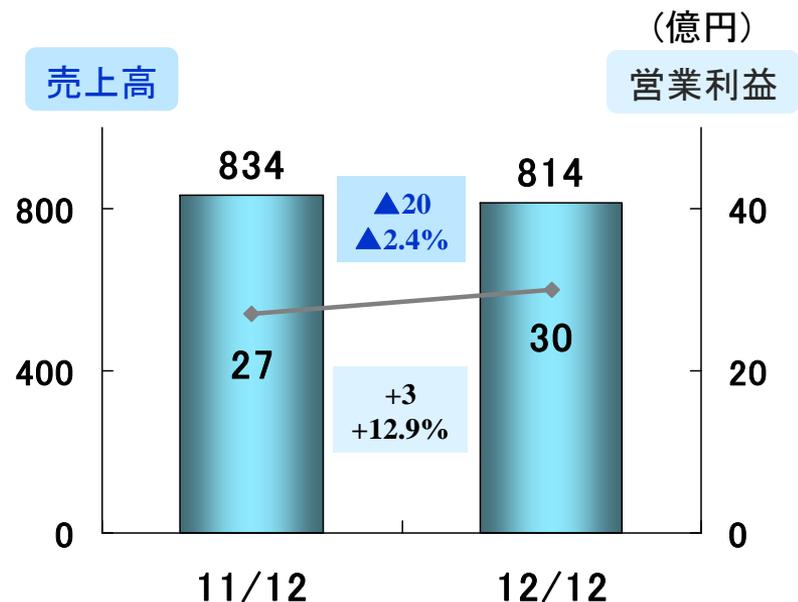
	11年度			12年度	
	10-12月	4-12月	年間	12年度	
				10-12月	4-12月
テリボン™	4	4	22	48	122
フリバス™	40	109	142	39	109
エルシトニン™	32	98	124	27	80
リコモジュリン™	21	55	73	30	72
ブレディニン™	18	50	64	16	47

2. 研究開発の状況

		開発コード・剤型 (一般名)	区 分	薬 効・分 類	適 応 症	自社/導入	備考
国 内	申請中の品目	AK-120錠 (ファムシクロビル)	適応拡大	抗ヘルペスウィルス剤	単純疱疹	導入	
	フェーズⅢの品目	AK-156注 (ゾレドロン酸水和物)	新効能・新用量 医薬品	骨吸収抑制剤 (ビスフォスフォネート)	骨粗鬆症	導入	年1回 投与
		AK-160注	新成分新薬	細菌由来の コラゲナーゼ製剤	デュピュイトラン 拘縮	導入	
	フェーズⅡの品目	AT-877錠 (ファスジル塩酸塩水和物)	適応拡大 剤型追加	ローキナーゼ阻害剤	肺高血圧症	自社	
		HC-58注 (エルカトニン)	適応拡大	カルシトニン製剤	肩手症候群	自社	
海 外	フェーズⅢの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	新成分新薬	血液凝固阻止剤	凝固異常を伴う 重症敗血症	自社	
	フェーズⅡの品目	AK106	新成分新薬	抗炎症剤	関節リウマチ	自社	

探索・基礎研究 成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科領域や泌尿器領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

繊維概況(4-12月累計)



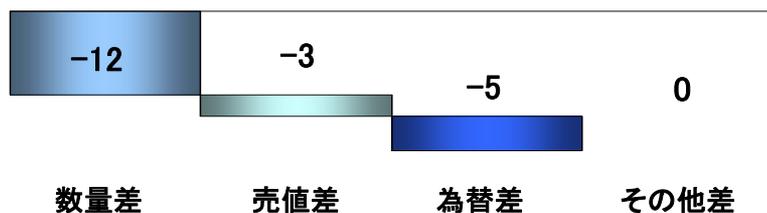
<概況>

ポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」の販売量が輸出を中心に減少したことや円高の影響を受けたものの、再生セルロース繊維「ベンベルグ™」で、アウター用途や民族衣装用途などの販売が好調に推移したことに加え、エアバッグなどに用いられるナイロン66繊維「レオナ™」や不織布事業も堅調に推移したことなどから、前年同期比減収、増益となった。

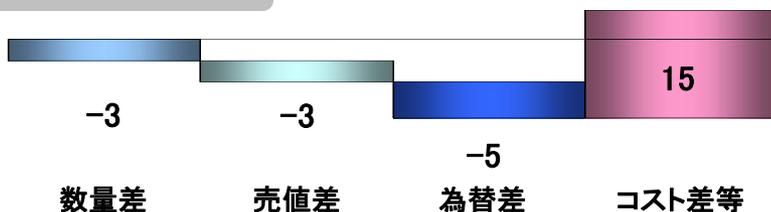
<トピックス>

- ・米国子会社におけるスパンデックス(ポリウレタン弾性繊維)の製造・販売の停止など、スパンデックス事業の構造改革を決定。(8月)

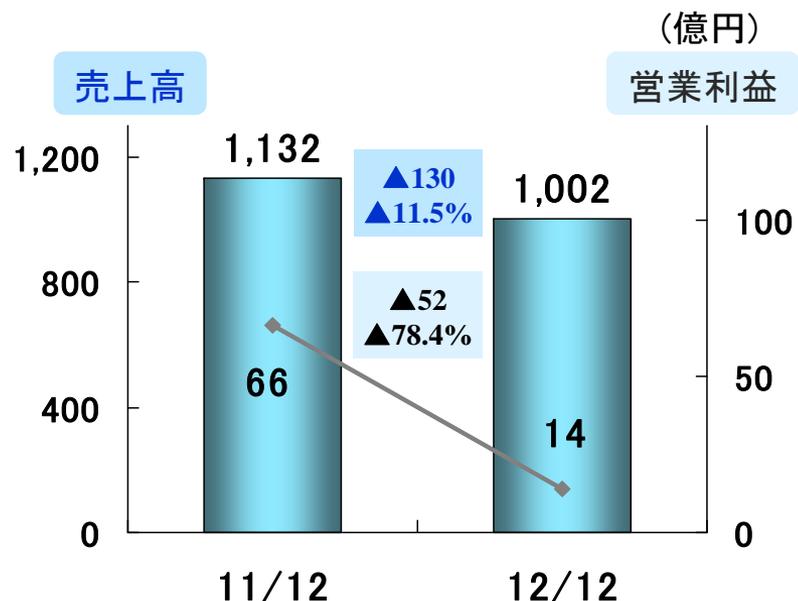
売上高増減分析



営業利益増減分析



エレクトロニクス概況(4-12月累計)



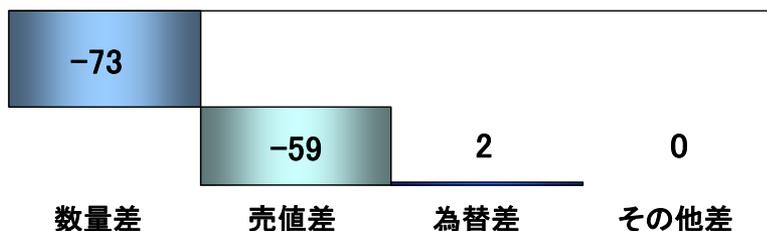
<概況>

電子部品系事業で、スマートフォンなど携帯端末向けミクスドシグナルLSIの販売量が増加したものの、その他電子部品やリチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」をはじめとした電子材料系事業の各製品が、販売量の伸び悩みや販売価格の下落などエレクトロニクス業界の市場低迷の影響を受けたことなどから、前年同期比減収、減益となった。

<トピックス>

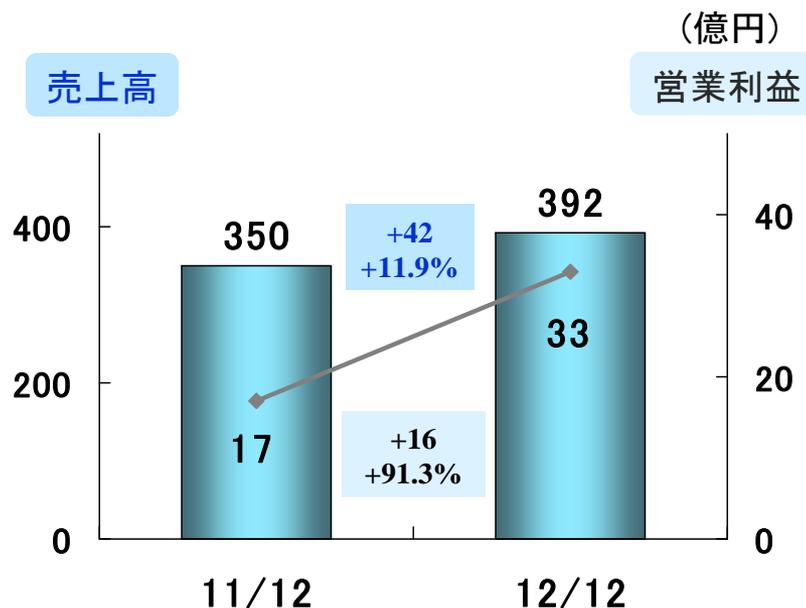
- ・中国江蘇省常熟市での「サンフォート™」の工場建設を発表。(5月、13年9月稼働開始予定)
- ・「電子コンパスの自動調整技術」に関わる特許が、全国発明表彰「恩賜発明賞」を受賞。(6月)
- ・世界最小クラスのパッケージサイズを実現した携帯機器向け3軸電子コンパス新製品発売。(7月)
- ・中国江蘇省蘇州市において「ハイポア™」の加工工場を建設、稼働開始。(9月)

売上高増減分析



営業利益増減分析





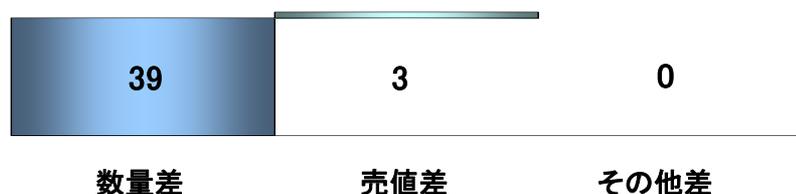
<概況>

住建事業で軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベルTM」の販売が好調に推移し、高性能フェノールフォーム断熱材「ネオマTMフォーム」などの断熱材事業も販売量を伸ばした。また、基礎事業では中小型パイル工法「イーゼットTM」などの新規用途が順調に拡大し、構造資材事業も堅調であったことなどから、前年同期比増収、増益となった。

<トピックス>

- ・ポリエチレン系断熱材「サニーライトTM」の生産・販売の終了を決定。(8月、13年3月末終了予定)
- ・床充填専用フェノールフォーム断熱材「ジュピーTM25」を発売。(8月)

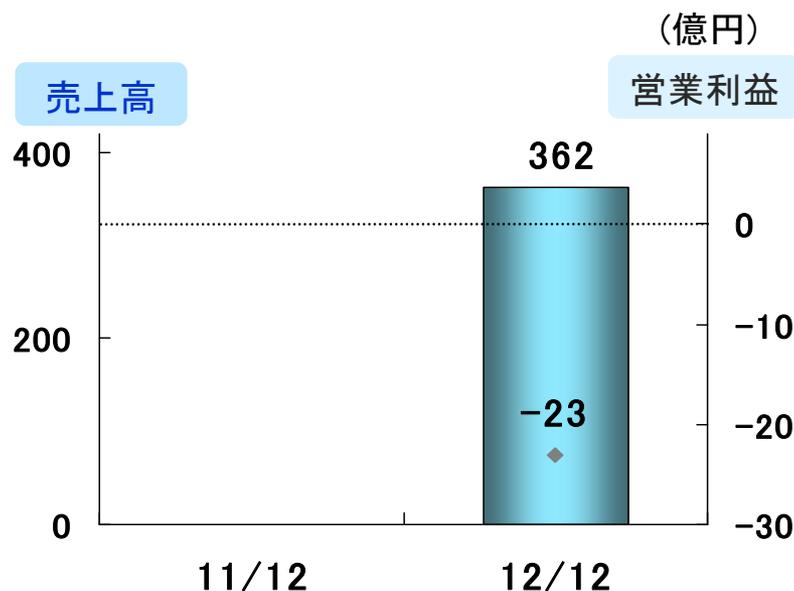
売上高増減分析



営業利益増減分析



クリティカルケア概況(5-12月累計)



<概況>

着用型自動除細動器「LifeVest(ライフベスト)™」の業績が順調に拡大し、医療機関向け除細動器なども堅調だったが、買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却などの影響を受け、営業損失となった。

<トピックス>

- ・ZOLL Medical社の日本法人「旭化成ゾールメディカル(株)」を設立。(10月)

<参考:クリティカルケアセグメント業績推移>

(億円)

	上期	3Q	下期	2012年度
	(5-9月)	(10-12月)	予想	予想
事業利益	41	16	35	77
のれん償却額	-23	-14	-29	-52
無形固定資産償却額等	-30	-15	-30	-60
償却額合計	-53	-29	-59	-112
営業利益(連結)	-11	-12	-24	-35

業績予想の適切な利用に関する説明、 その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。